

平成 29 年度 事業中間報告書 (12 月 1 日現在)

コース	<input checked="" type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	人と猫が共存できる地域の環境対策としての「地域猫活動」
団体名	倉敷地域ねこ活動をすすめる会
担当課	

1 事業の成果

平成 29 年度申込書（様式第 2 号）に記載した「5(2)事業の実施に期待する効果」に対応する成果を記入してください。（※実施した事業の詳細は「4 事業実施記録」に記入してください。）

啓発と現状調査に重点を置くことで、地域の承認を得た地域猫活動を実施することが出来た。

1.承認・合意（ルール作り）について

不特定多数を対象とした「地域猫セミナー」、自治会を対象とした「地域猫説明会」、担当行政・市議を対象とした「地域猫勉強会」等を行い、地域の承認を得た活動を行うことが出来た。一方、地域住民が当事者意識を持ち、独自のルールにおいて自主的に取り組むまでは至らなかった。

2.繁殖制限

美和・鶴形に定住している計 10 匹の猫に対して繁殖制限（不妊去勢手術）を行った。

3.給餌

地域住民に対して「食べ終わった餌の容器は速やかに片付ける」旨、指導した。また、猫を適正管理している事を広報した結果、置き餌（自治会外から通ってくる餌やり）が無くなった。

4.糞尿処理

地域住民 2 名に糞尿処理を依頼し、地域猫トイレを 4 カ所設置した。

5.個体管理（捨て猫防止）

パネル・写真展を 2 回開催し、地域で生活している猫の特徴や生活場所、経緯を紹介した。しかし、一部の猫に関心のある地域住民以外の参加は無く、捨て猫防止までは至らなかった。

2 事業の自己評価

事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば 100 点とします。なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は 100 点を超える点数を記入してください。

80 点

3 事業の課題

事業を実施する中で見えてきた課題を記入してください。

地域住民が当事者意識を持ち、自主的に活動を継続すること。

4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
地域猫説明会 【対象】美和町内会 【内容】地域猫活動の流れ（現状調査、不妊去勢手術、猫の管理、報告について説明）	4 月 22 日	美和公民館	3 名	美和町内会総会への参加者数
行政向け勉強会 【内容】1. あいさつ 2. 倉敷市における猫問題の現状について 3. 地域猫対策をすすめるために 4. 世田谷区における地域猫活動事例の紹介 5. 質疑応答 【講師】高木優治（新宿区人と猫との調のとれたまちづくり連絡協議会顧問、NPO 法人アナイス理事、元新宿区保健所衛生課職員）、田矢麻弓（チーム SLP 代表）	5 月 26 日	倉敷市保健所	9 名	9 名

啓発セミナー・アンケート調査 【対象】猫で問題が起きている地域住民（不特定） 【内容】1 地域猫対策をすすめるために2世田谷区における地域猫活動事例の紹介3 質疑応答4 アンケート 【講師】高木優治（新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会顧問、NPO 法人アナイス理事、元新宿区保健所衛生課職員）、田矢麻弓（チームSLP 代表）	5 月 27 日	倉敷市立美術館	9 名	40 名
地域猫パネル・写真展 【対象】美和町内会ほか 【内容】地域猫に関する啓発パネルの展示、TNR 活動報告写真展示、野良猫相談	7 月 15 日 8 月 26 日	美和公民館	4 名	計 10 名
社会課題の解決を考えるワークショップ」に参加	8 月 30 日	倉敷市役所		
倉敷地域ねこ活動をすすめる会定例会	6 月 5 日 9 月 3 日	ジョイフル倉敷本店	8 名	
地域猫意見交換会 【参加者】行政、ボランティア、市議 【内容】1.猫の不妊措置に対する補助について 2.地域猫活動の進め方・今後の展望について 3.その他（くらしきペットサポーターの運用、ミルクボランティアについて）	9 月 23 日	くらしき福祉プラザ	3 名	16 名
わんこにゃんこのおはなしの会 【対象】児童ほか 【内容】1 絵本読み聞かせ 2 地域猫活動のご紹介 3 質疑応答	10 月 22 日	真備図書館	3 名	4 名
TNR（捕獲→不妊去勢手術→元の場所へ戻す）10 匹	4 月～	美和・鶴形	1 名	美和・鶴形地域住民
地域猫トイレの設置（4カ所）	4 月～	美和		美和地域住民
活動報告のチラシ配布（2回）	4 月～	美和	1 名	美和地域住民